

## 茨城県立医療大学開学30周年記念事業募金趣意書

茨城県立医療大学は、豊かな教養と人間性を兼ね備えた質の高い医療専門職の養成と教育研究により茨城県の保健医療水準の向上を図るため、平成7(1995)年4月に開学して以来、当初の目標に沿って順調に発展を遂げ、令和7(2025)年をもって30周年を迎えます。

医療大学は、保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科、放射線技術科学科、人間科学センター、医科学センターの4学科2センターで発足、その後、平成13年4月に大学院修士課程を、平成22年4月に大学院博士後期課程を、さらに平成26年4月には助産学専攻科を開設し、これまで高度の専門的な知識と創造性をもった約4,000人の有為な人材を茨城県はもとより広く社会に輩出しております。

また、施設面におきましても、本学は、全国に誇る教育研究施設設備を有し、平成8年12月には、国公立の医療系大学としては全国初のリハビリテーション専門の付属病院を設置し、大学と連携した教育・研究の場として活用するとともに、地域の保健・医療に貢献しております。

この開学30周年という記念すべき時期に当たり、30年の歩みを振り返るとともに、地域における本学の役割を再認識し、さらなる教育・研究活動の充実・発展を期するため「茨城県立医療大学開学30周年記念事業実行委員会」を設立し、つぎの事業を企画し、実施することといたしました。

- 1 開学30周年記念式典
- 2 開学30周年記念講演会
- 3 開学30周年記念誌の発行

厳しい世情の折ではありますが、茨城県立医療大学開学30周年記念事業の趣旨に御理解と御賛同を賜り、下記募金の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月吉日

茨城県立医療大学開学30周年記念事業実行委員会  
実行委員長 河野 豊

### 記

- 1 募金目標額： 金200万円
- 2 開学30周年記念事業の内容・募金使途：
  - ・記念式典及び講演会の開催並びに30周年記念誌発行 150万円
  - ・募集経費 50万円
- 3 募集期間： 令和6年10月末日～令和7年9月30日
- 4 募金の区域及び範囲： 名誉教授・本学教職員・卒業生ほか
- 5 募金額： 任意
- 6 募金方法： 本学卒業生の同窓会組織『藝遊會』が運営する寄付金サイト(F-REGI)から御寄付ください。  
クレジットカードで決済できます。

本学ホームページ → 大学案内 → 30周年記念特設ページ内 [開学30周年記念事業寄付金ページへ移動する](#) →  
[寄付のお申し込み\(専用サイトに移動します\)](#) → メールアドレスを入力し [寄付を開始する](#) をクリック  
→ メールに寄付の申し込みリンクが届きます。

※その他のお支払方法をご希望される場合は、本学事務局までお尋ねください。



QRコード

- 7 その他：

当該寄付金に残余金が生じた場合は、教育環境の整備に充てるものとし、原則として、開学30周年記念事業実行委員会が、対象物品等の選定・購入・支払い手続きを行うものとし、

上記により、なおも残余金が生じた場合等においては、実行委員会が具体的な物品等を選定したうえで本学卒業生の同窓会組織『藝遊會』に残余金を移管するものとし、『藝遊會』において購入・支払い手続きを行うものとし、

発起人

茨城県立医療大学

学 長 阿 部 慎 司

副 学 長 河 野 豊

後 援 会 会 長 大 西 のり子

同 窓 会 会 長 橘 香 織

付 属 病 院 長 中 島 光太郎

学 生 部 長 齋 藤 さわ子

附 属 図 書 館 長 富 田 美 加

大 学 院 研 究 科 長 富 田 和 秀

保 健 医 療 学 部

看 護 学 科 長 中 村 博 文

理 学 療 法 学 科 長 浅 川 育 世

作 業 療 法 学 科 長 堀 田 和 司

放 射 線 技 術 科 学 科 長 藤 崎 達 也

人 間 科 学 セ ン タ ー 長 才 津 芳 昭

医 科 学 セ ン タ ー 長 馬 場 健

助 産 学 専 攻 科 長 阿 部 慎 司

学 長 特 別 補 佐 桜 井 直 美

教 授 (五 十 音 順) 石 森 佳 幸 井 田 博 史 井 出 政 行

内 田 敦 子 大 島 隆 一 郎 上 岡 裕 美 子

河 野 了 吉 良 淳 子 久 保 田 茂 希

佐 藤 純 島 田 智 織 白 石 英 樹

高 村 祐 子 滝 澤 恵 美 田 口 典 子

ニ ュ ー バ リ ー ダ ニ エ ル 藤 岡 寛 松 元 秀 次

水 上 昌 文 六 崎 裕 高 森 浩 一

門 間 正 彦 山 口 忍 山 波 真 理

事 務 局 長 柴 義 則